

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1	16番 杉田隆一（一問一答）			
	1. 新副市長の所信について			
	(1)	新副市長の所信について	副市長として、本市の行政運営を円滑に、そして、安定させ、また発展させていく上での副市長の思いを問う。	副市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
2	13番 南山修一（一問一答）		
	1. 新副市長としての能美市政への意気込みについて		
	(1)	新副市長の使命について 石川県職員から能美市副市長に就任された使命を問う。	副市長
(2)	能美市副市長の意気込みについて 令和5年度は加賀立国・能美誕生1200年の節目の年となるが、この重要な年に就任された副市長の能美市政に対する意気込みを問う。	副市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
	6番 山下 毅（一問一答）			
	1. 小中学校の快適なトイレ環境の整備について			
	(1)	小中学校における洋式トイレ設置率の格差について	本市の小中学校において、洋式トイレの設置率に格差が見受けられるが原因と課題について問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	学校トイレを快適にするためのアンケート調査について	学校のトイレを快適にするためには、アンケート調査を実施することが効果的な手段であると考えますが、見解を問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	快適なトイレ環境の整備計画について	快適なトイレ環境の整備を進めるためには、トイレの改修目標を掲げ、整備計画を策定すべきと考えますが、見解を問う。	教育委員会 管理局长
	2. 農業DXの普及推進について			
3	(1)	覚書締結後からこれまでの実績及び評価について	農村デジタルトランスフォーメーションの推進に関する覚書締結後からこれまでの実績及び評価について問う。	市長
	(2)	大規模農家の育成や集落営農の確立に向けた対策を講じよ	スマート農業を推進するためには、農地集積や集約化を図り大規模農家の育成や集落営農の確立に向けた対策を講じるべきと考えますが、見解を問う。	産業交流部長
	(3)	サポート体制や人材育成について	スマート機器を使いこなすためのサポート体制や、AI・ICTに精通した人材の育成が急務と考えますが、見解を問う。	産業交流部長
	(4)	スマート農業推進計画の策定について	農業DXの普及推進を目指すために、早急に現状分析や課題の洗い出しを行い、スマート農業推進計画を策定すべきと考えますが、見解を問う。	産業交流部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
5番 今尾晃司(一問一答)			
1. 辰口中央地域・和気地域の治水対策について			
(1)	辰口中央地域・和気地域の治水対策について	昨年8月の記録的大雨では、辰口中央地域・和気地域でも多くの浸水被害が発生した。この地域の災害、浸水被害を減らすための取組を問う。	土木部長
(2)	小松市、宮竹用水との治水協定について	これまでも大雨の際には手取川に水を戻すなど対策が講じられてきた。この治水協力協定により、治水対策の何が変わるのか問う。	市長
(3)	丘陵地からの雨水への治水対策について	丘陵地全域について、どのような治水対策を考えているのか、市の見解を問う。	土木部長
4	2. 带状疱疹予防接種費用の助成について		
(1)	带状疱疹ワクチンの公費助成の動向について	市医師会との協議内容、国や他市町の動向について現状の把握、および市が検討してきた内容を問う。	健康福祉部長
(2)	带状疱疹ワクチンの任意予防接種費用の助成を実施せよ	带状疱疹は50代から発症率が高くなり、80歳まで3人に1人が発症するといわれている。重篤な症状による生活の質の低下を招かないためにも、地域全体の健康増進につながる市独自の带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の助成を求めるが、市の見解を問う。	健康福祉部長
3. 教育力の向上について			
(1)	「教育力」の定義と現在の課題、および「教育力の向上」の今後の方針について	「教育力の向上」は能美市の事業・施策の7本柱の一つである。能美市は「教育力」をどのように定義し、現在の課題をどのように捉えているか。そして、その課題を解決し「教育力の向上」を進めるための今後の方針を問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
5	7番 卯野修三(一問一答)			
	1. ふるさと納税の方向性について			
	(1)	ふるさと納税の全体の収支について	住民税・税控除額と入ってきた寄付金との差額および事務経費を勘案した全体の収支を問う。	市長室長
	(2)	ふるさと納税の収支は維持できるか	能美市として、ふるさと納税の収支は維持できるのか、そして改善策を問う。	市長
	2. 市外高校への通学交通費補助について			
	(1)	市外高校への通学交通費補助について	市内の高校生85%が市外の高校へ通学している現状を踏まえ、市外の高校へ通う高校生への通学補助費の考えを問う。	企画振興部長
	3. がんに対する備えの強化について			
	(1)	がん検診受診料の値下げとPET検診補助の復活について	国民二人に一人がかかるかもしれないというがん検診の受診料の値下げとPET補助復活について問う。	健康福祉部長
(2)	就職支援奨励金制度について	新たになん患者を雇用する企業への就職支援奨励金制度の創設の考えを問う。	産業交流部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
6	11番 田中 大佐久（一問一答）			
	1. 新教育長の所信について			
	(1)	新教育長の所信について	学校現場に長く勤められ、従前と違う立場・役割となった木下新教育長に、本市の教育をさらに深化、発展する熱い思いを問う。	教育長
	2. 鍋谷川の災害復旧状況について			
	(1)	災害復旧工事の進捗状況について	能美市内では溢水や護岸の崩壊等が発生しているが、そのうち寺島町町内における大規模な浸水被害、沿川に広がる農地への土砂流入や冠水等の被害の復旧工事の進捗状況を問う。	土木部長
	(2)	治水対策の今後のスケジュールについて	鍋谷川において今後予定されている治水対策事業とそのスケジュールを問う。	土木部長
(3)	治水協力協定について	能美市と小松市、宮竹用水土地改良区によって締結した治水協力協定についての具体的な内容を問う。	土木部長	
(4)	市内全域の浸水対策について	丘陵地からの出水については、合流する鍋谷川の改修が必要不可欠であり、河川改修を早期に完了させるためには、本川である梯川が特定都市河川に指定されることが近道ではないかと考える。市内全域の浸水対策に対する決意を市長に問う。	市長	
(5)	土木行政の振興について	土木行政の最高責任者として4月1日に着任された中谷土木部長の行政課題に取り組む姿勢及び業務を円滑に推進するための意気込みを問う。	土木部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
7	3番 中村純子(一問一答)			
	1. 高齢者の活躍について			
	(1)	老人クラブ活動への支援について	老人クラブの会員数や単位老人クラブ数の推移とその現状をどのように分析し、どのようなサポート、支援を行っているのか問う。	健康福祉部長
	(2)	シルバー人材センターの活用について	登録者数や就業率、業績等の現状と、市では新たな労働力を確保するためにも「シルバー人材センター」とどのように連携し、その機能を活用していくのか問う。	産業交流部長
	(3)	高齢者(シニア)DX普及について	高齢者がデジタル化から取り残されず、不安なくDX推進に足並みが揃えられるよう、どのような方策を考えているのか問う。	企画振興部長
(4)	元気な高齢者の支援施策について	高齢者がいつまでも元気に暮らし、これまでの経験や能力を生かして活躍できる社会、世代間交流やボランティア等による、社会貢献や生きがいを持てる社会、そのような地域社会づくりのために、どのような施策を推進すべきと考えているのか問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
2番 荒井昌宏(一問一答)			
1. 能美市の災害対応力について			
(1)	指定緊急避難場所及び指定避難所選定の方針について	災害の危険が迫った時に身を守るため緊急的に避難する「指定緊急避難場所」や、災害により危険な場所から避難した住民が一定期間滞在する「指定避難所」について、地域防災計画に指定する際にどのような基準で選定されているかを問う。	総務部長
(2)	災害応急対策等に関する協定について	国は、災害時に必要な応急対策のために指定公共機関を指定しているが、それ以外に市として民間事業者との協定締結も必要と考えるが、市の現状と今後の取組を問う。	市長
8	2. 学校部活動の地域との連携と移行について		
(1)	能美市におけるこれまでの取組について	学校部活動の地域移行に向け、県内でも先駆的に推進してきた能美市の取組について問う。	教育長
(2)	合同部活動による学校部活動機会の充実の必要性について	合理的で効率的な部活動の推進を図るため、合同部活動によるスポーツや文化活動機会の充実が必要と考えるが、見解を問う。	教育長
(3)	地域との連携を深めるための対策や今後の取組について	「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下、地域との連携を深めるための対策や今後の取組を問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
4番 澤田 貞（一問一答）			
1. 新任副市長の意気込みについて			
(1)	出向人事への思いについて	馳知事は自身のブログで昨年から決めていたと述べているが、実際に伝えられた時期と、能美市出身者とはいえ腹心である秘書課長から副市長に選ばれた思いを問う。	副市長
(2)	副市長の行政手腕について	着任早々の6月1日、能美市観光物産協会の総会で新会長に就任され、また地域共生社会推進事業の「横糸プロジェクト」チーム長として、その取組が注目されているが、これらの意気込みを問う。	副市長
(3)	地方行政の現場での活躍について	県庁で働いていた経験を生かし、能美市民の声を聞いて故郷に恩返ししたいと新聞報道されているが、地方行政を動かしているのは職員である。職員のメンタルに配慮した能美市発展の取組について問う。	副市長
2. 大雨対策について			
9	(1) 5月補正を含めた浸水被害防止について	今年度当初予算で中小河川の浸水想定区域について洪水ハザードマップ作成が盛り込まれ、浸水対策工事も予定している。昨今の線状降水帯や集中豪雨は、想定外の被害をもたらすが、5月補正の事業も含めて、流域治水対策の観点から、今後の大雨への備えは万全かを問う。	土木部長
(2)	梯川水系緊急治水対策プロジェクトの治水安全度について	梯川水系における緊急治水対策プロジェクトの実施で、特に鍋谷川流域における治水安全度を向上させるための有効な防災対策を示せ。	土木部長
3. 高齢運転者の交通安全について			
(1)	高齢運転者への安全運転喚起について	加賀産業開発道路で逆走事故が発生したことで、能美警察署は高齢運転者から原因や距離等を調べている。高齢運転者の痛ましい交通事故を未然に防止するため、行政側からの積極的な働き掛けを問う。	市民生活部長
(2)	交通事故の危険性を減少させるデジタル化について	県警の交通事故情報マップを活用して、行政の強いリーダーシップのもと、交通事故の状況を分かり易い形でデジタル化し、高齢運転者の不安解消を図るべきと考えるが、市の見解を問う。	企画振興部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
10	10番 山本 悟（一問一答）			
	1. 西川周辺の治水対策について			
	(1)	短期的に取り組んできた事業の進捗状況について	昨年8月4日の大雨による浸水被害を受けて、西川沿いで昨年度から行ってきた浸水対策の進捗状況を問う。	土木部長
	(2)	中長期的に取り組む予定の事業の進捗状況について	中長期的に取り組む事業として、河川の拡幅工事や、樋門の整備などが計画されているが、現在の進捗状況を問う。	土木部長
	(3)	小松市、宮竹用水との治水協力協定について	この程締結された小松市、宮竹用水土地改良区との治水協力協定について、特に用水を停水する時期を問う。	土木部長
	(4)	市全域に対する浸水対策の市の方針について	西川沿いでは治水協力協定の措置だけでは不十分であると考えているが、市全域に対する浸水対策の市の方針を問う。	市長
2. 給食費の完全無償化について				
(1)	少子化対策として給食費の完全無償化を実施せよ	少子化対策、移住定住の促進、教育の機会均等の為の施策として、また地域間競争を勝ち抜く為にも給食費の完全無償化を実施すべきと考えるが、どのようなビジョンを持ってどのような行程で取り組んでいかれるのかを問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1 1	14番 東 正 幸（一問一答）			
	1. 2024年春の北陸新幹線県内全線開業に伴う観光誘客について			
	(1)	観光施設・イベント等入込客数について	「能美市観光アクションプラン」の中に観光施設・イベント等の入込客数があり、2019年から2023年までの5年間の目標と現実としての全体入込者数はどのような状況かを問う。	産業交流部長
	(2)	金沢市との連携について	県外中学生の田植え体験があったが、その要因として金沢市との移動時間、移動距離が短かったとあるが、金沢市への来訪客取り込みで、金沢市との連携を図れないかを問う。	産業交流部長
	(3)	「シティプロモーション事業」について	「シティプロモーション事業」で、小松市、加賀市との連携を見据えているが、現在までの事業展開の評価と効果、また、今年度の具体的な事業の企画内容について問う。	市長
	(4)	観光客の受入れ環境整備について	観光案内看板の整備の遅れや、観光案内所が無いことなど環境整備の必要性が指摘され、整備が求められているが、現在と今後の具体的な対策を問う。	産業交流部長
(5)	観光交通インフラについて	公的交通機関と位置付けられていた、民間バス路線も利用者の激減により、運休、廃止となる中で、観光客の二次交通への対応など観光交通の体系的な見直しに対する対策や考えを問う。	産業交流部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
12	15番 近藤啓子(一問一答)		
	1. 公害問題について		
	(1) 公害としての認識について	準工業地帯の市民から騒音・振動・悪臭の苦情が寄せられている。公害として認識した対応について問う。	市民生活部長
	(2) 騒音・振動・悪臭への具体的な対応について	悪臭防止法や臭気対策行政ガイドブックでは具体的な対応策が事細かく書かれている。臭気だけでなく、騒音や振動についての具体的な調査や住民への連絡・報告をどうしているか問う。	市民生活部長
	(3) 企業への対応について	臭気対策行政ガイドブックに従っての企業への対策はどうしているのかを問う。	市民生活部長
	(4) 行政への安心と信頼について	相談者や住民との関係がこのままでは行政への不満が残り、あきらめで終わってしまうことから、公害対策への真摯な取組で安心と信頼を取り戻すべきではないか問う。	市民生活部長
	(5) 開発許可の改善について	開発許可を出すにあたって、公害を未然に防ぐことに配慮した環境配慮基準を作成し、開発許可を出すことはできないか問う。	土木部長
2. 带状疱疹ワクチンへの支援について			
(1) ワクチン補助の制度について	带状疱疹は高齢者の3人に一人が発症するとされており、発症すると神経の痛みや心身への影響が大きく残り、体力もすぐ落ちてしまう。带状疱疹ワクチンは任意接種で高価である。発症予防効果や長期予防効果のあるワクチン接種は44,000円かかるが、費用の助成ができないか市の見解を問う。	健康福祉部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
8番 北村周士（一問一答）			
1. （仮称）能美丘陵地開発用地の計画について			
13	(1) 計画の概要を問う	令和3年6月定例会において、市内の金沢大学所有地について譲渡及びその敷地の加賀産業開発道路とのアクセス向上や住宅地等の開発も視野に入れた利活用の方針が市長より示された。その計画の概要を、宅地開発、商業誘致、道路建設の三点について問う。	土木部長
	(2) 表明から2年間で計画の変更はあったか	計画の表明から2年が経過したが、その間、新聞報道の内容も含めて計画の変更はあったか。	土木部長
	(3) 自然環境調査の結果の公表はしないのか	土地開発公社の予算によって自然環境調査が行われているが、その結果を公表するつもりはないか。	産業交流部長
	(4) 希少な動植物の生息は確認されたか	環境省のレッドデータブックにも記載される動植物の生息は、当該地域の調査によって確認されたか。	土木部長
	(5) 第2次能美市総合計画や市民意向調査の結果との矛盾はないか	第2次能美市総合計画では「山川の生態系の保全と生物多様性の確保」を掲げており、市民意向調査では「自然が豊かだから、空気がきれいだから、田舎だから」住んでいる、あるいは「今後の『農地・山林』については、『極力宅地化しない』」という考え方の市民も多い。これらの内容と、本計画は矛盾するものではないか。	土木部長
	(6) 空き家問題の解決を優先する考えと、「ストロー現象」が生じる懸念はないか	空き家問題の解決は急務であると市長も発言されているが、空き家問題を解決したうえで、それでも足りなければ新興住宅地の開発をすべきではないか。また「ストロー現象」が生じる懸念はないか。	土木部長
	(7) 持続可能な地域を作ることと里山の保全についての考えは	SDGsの考え方も市民に浸透してきた。その中で、重要里地里山としての能美丘陵地の重要性の認識、他の丘陵地の今後の開発可能性の有無、山地を開発することによる保水機能の低下の懸念に対する認識、いしかわサイエンスパーク周辺の宅地再整備への考え方について問う。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
9番 仙台謙三(一問一答)			
1. 市内の宿泊施設および飲食店を支援する能美市独自の支援について			
14	(1) 宿泊割への補助について	市内宿泊施設を利用して、日頃の思いを語り、交流を深める宿泊に対する補助を求める。	産業交流部長
	(2) 会食割への補助について	市内の飲食施設を利用して行う同窓会や会食などへの補助を求める。	産業交流部長
2. 線虫を活用したがん検診への補助について			
	(1) 線虫がん検査を活用したがん検診への補助について	市のがん予防における健康診断の受診を促す一助としても、この線虫がん検査における市の補助を実施すべきと考えるが、市の見解を尋ねる。	健康福祉部長
3. 小中学校の水害及び土砂災害対策について			
	(1) 市内小中学校の災害対策を問う	水害および土砂災害への対策について、文部科学省からの手引きに様々な取組例が示されている。本市で既に実施している取組、今後実施すべきと考える取組は何か。	教育委員会 管理局长
4. 熱中症対策について			
	(1) 熱中症から地域住民の生命を守るための取組の推進を問う	気候変動等の影響により、熱中症対策が、年々、重要となっている。対策の一つとして、熱中症対策マニュアル等を活用する事も重要である。本市における活用の現状について問う。	健康福祉部長
	(2) 高齢者等熱中症弱者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取組を問う	高齢者、熱中症弱者への効果的な熱中症予防を進めるために、消防本部、健康福祉部、および関係団体が連携し、どのような取組を進めているのか。「全国の暑さ指数(WBGT)」の認知度向上や行動変容に繋がる情報発信も含めた市の取組を問う。	市長
	(3) 高齢者世帯等のエアコン整備や点検を促す取組、及びエアコンの利用促進への対策を問う	熱中症の予防のためには、クーリングシェルの整備に合わせて、外出が難しい高齢者世帯等のエアコンの点検や整備の推進も必要であると考え。また、熱中症特別警戒情報が発令された時に、エアコンの利用を促進する為に、電気代の高騰への対応も含めて、低所得者等に対して、適切な支援が必要であると考え、市の見解を問う。	健康福祉部長